

浄土宗西山禅林寺派

潮音寺だより

<http://www.ne.jp/asahi/choonji/namo/>

ナモの寺 検索

〒456-0034 名古屋市熱田区伝馬一丁目 10-11

第320号
平成22年6月

電話 052-671-4831

ファックス 052-671-4856

choonji@aichi.email.ne.jp

水彩画：松村憲一



【出典】聖徳太子『十七条憲法』第十条

あひともに
賢く思かなることし
鑲の端なきがごとし

オレは賢い！
アタシ利口よ

そう
えらそうに

威張りなさるな

オレは無能だ！
アタシ馬鹿よね

なあに
気にしなさるな

人間だれしも

耳飾りの
輪っかのよう
に

中も
端っこも

ありはしない

グルッと回って
みな同じ

平城遷都祭

百済の仏にご参拝（538 仏教伝来）。労を知る十七条憲法（604）。六つからよい、土地もらえる大化の改新（645）。なんと立派な平城京（710）。鳴く、ようぐいす平安京（794）……といった具合に、歴史年号を、語呂合わせで覚えることありませんでしたか？

そうですね。今年は西暦二〇一〇年、平城遷都（710）からちょうど一三〇〇年になります。奈良ではイベントキャラクタールにはせんとくん、そして、朱雀



門、大極殿が朱も鮮やかに復元されて、大々的に全県あげて記念祭が催されています。

たまたま、当方、地域の仏教組合の幹事をしておりまして、隔年毎の研修旅行を企画立案すること

になり、このゴールデンウィーク明けにその奈良へ行ってまいりました。メイン会場である朱雀門・大極殿のある平城京跡の見学はあいにくの雨で、はしょって回ってききましたが、大仏様の東大寺とすぐ前にある奈良国立博物館、そして、斑鳩にある聖徳太子ゆかりの法隆寺、宿泊地でもあった信貴山の朝護孫子寺は、仏教美術に詳しい会員の方の案内説明で、ゆつたりと研修を深めてることができました。



奈良時代の仏教は、聖武天皇の詔により、全国（尾張国の場合は稲沢）に、国分寺と国分尼寺を一つずつ建立し、国家の安寧を願うという壮大なものでした。そして、

大和国の東大寺は総国分寺、法華寺は総国分尼寺と位置づけられました。つまり、奈良の大仏様は鎮護国家の象徴であったわけです。今日の我々でも、圧倒されるほどの奈良時代の仏教文化であります。その基を築き上げたのは、なんといつても聖徳太子であります。

歴史的背景をおさらいしてみますと、当時の大和政権は、朝鮮外交の失敗、皇位継承問題と豪族の対立により危機的状況にありました。そんな中、物部氏を倒して実権を握ったのは蘇我馬子で、対立を深めた崇峻天皇をも暗殺し、女帝推古天皇を擁立しました。その摂政として国政を推進したのが聖徳太子でありました。

太子は、内外の危機を打開するために、天皇中心の中央集権国家建設を目指しました。十七条憲法

と冠位十二階とで、道徳と秩序を整えようとしたのです。十七条憲法は、儒教・仏教・法家（中国、戦国時代の諸子百家の一派。法を基準として信賞必罰の政治を行い、権力を君主に集中させようとするもの）などの影響が見られるといわれています。仏教に関する条目は、次の二つです。

二にいう。篤く三宝を信奉すべし。三つの宝とは仏（覚者）・法（仏になる教え）・僧（教えを實踐する集団）である。それは生命ある者の最後のよりどころであり、すべての国の究極の規範である。いつの時代でも、どのような人でも、この教えを貴ばないことがあろうか。人は、極悪の者は少ない。よく教えれば従うものである。ただ、それには仏の教えに依らなければ、何によつてまがった心をただせるだろつか。十にいう。心の中の憤りをなくし、

憤りを表情に出さぬようにし、ほかの人が自分と違ったことをしても怒ってはならない。人それぞれに考えがあり、それぞれに自分がこれだと思うことがある。相手がこれこそといつても自分はよくないと思うし、自分がこれこそと思つても相手はよくないとする。自分はず聖人で、相手が必ず愚かだといふわけではない。皆ともに凡人なのだ。そもそも善悪の理屈は、誰がよく定めることができよう。お互い、だれも賢くもあり、愚かでもある。それは耳輪には端がないようなものだ。こういうわけで、相手が憤っていたら、むしろ自分に間違いがあるのではないかとおそれよ。自分ではこれだと思つても、みんなの意見にしたがつて行動するがよい。

どうです。十七条憲法については、学校教育の中で、単に形式的に扱うのではなく、内容にまで踏

み込んでぜひとも取り上げてもらいたいものです。

ところで、当時、日本に仏教を受け入れるか否かということは、権力闘争の重要な争点となつていて、実は、血生臭い戦いもありました。その戦いに勝利した蘇我馬子と聖徳太子は、その後本格的な寺院建設を行つていきます。

聖徳太子は、四天王寺・法隆寺を建立したということはご存じかと思ひますが、摂政以前、厩戸皇子として馬子側で参戦した折、四天王に願をかけ、その通りになつたことから四天王寺を建立したといひます。馬子は法興寺（別名飛鳥寺、奈良に移つてからは元興寺）を建立しました。この飛鳥大仏が、またすばらしいです。

皆さまも、どうぞ奈良へお出かけになつてみて下さい。

◎道場

武術を修行する場所、学問修行の場所……要するに、修養訓練を目的とする場所を、現在の我々は「道場」と解釈しているが、この語の源にはもともと深い意味がこめられている。

釈迦は、三十五歳のときブツダガヤで悟りを開くのだが、この悟りの場（梵語でボーデイ・マンダ）こそがほんとうの道場なのである。

「道」とは悟りを意味する。したがって悟りを開いた場所イコール道場であって、実に明快このうえない。

しかし『維摩経』にはつぎのようなエピソードも紹介されている。ある日釈迦の弟子光厳童子が維摩居士に出会い、「どこから来たのか？」とたずねる。すると維摩は「道場から来た」と答える。「道場はどこか？」とたずねると、「正直でいることが

道場。行に取りかかることが道場。悟りを求める心が道場」以下、情け深さ、戒めを保つこと、耐え忍ぶこと、努め励むこと……そうした心の状態を保つこと、すなわち悟りに向かう心のありようすべてが道場だといった。

こうなっては、ブツダガヤといった、ある一定の場所どころの問題ではない。すなわち、どんな人間でも、いつでもどこでも心の中に道場を構えることができるということになる。道場には、このように厳しい意味がこめられているのだ。

ところがこの語は、中国、日本に伝わるにつれ、修行のための別堂の意味になる。隋の煬帝が、当時の中国の寺を道場と改称させたのがきっかけになったのかもしれない。

以来、道場の場は巷に氾濫するの

だが、カラオケ道場で絶唱し、心身ともにクリアするのも一種の悟りの境地と考えれば、あなたが間違った使い方とはいえないのかも。

『仏教のことば』早わかり事典

雑記



▼枇杷

当方には、ひとり生えの枇杷の樹が二本あります。一昨年あたりから実がなるようになりました。「桃栗三年柿八年枇杷は早くて十三年」といいますので、それくらいになりますよ。小さいですが、結構おいしいです。

お釈迦様は「大薬王樹」と呼ばれ、葉や実はもちろん、樹まるごと色々な薬効があるとかが。

◆産声や万緑の日に

孫むすめ 沐魚